

第11回沖縄県教育委員会会議（定例会）

1 日時 平成21年7月15日 15時00分～ 16時00分

2 場所 教育庁第一会議室

3 出席者

委員	<p>比嘉 委員 (委員長) 鎌田 委員 東 委員 安次嶺 委員 中野 委員 金武 委員 (教育長)</p>	<p>(欠席委員)</p>
教育 庁	<p>統括監等</p>	<p>教育管理統括監、教育指導統括監</p>
	<p>課長及び 班 長 等</p>	<p>総務課長 財務課長 施設課長 福利課長 県立学校教育課長 義務教育課長 保健体育課長 生涯学習振興課長 文化課長 全国高校総体推進課長</p>
	<p>職務のため 出席した者</p>	<p>(事務局) 総務課副参事兼総務班班長 総務課総務班主査 県立学校教育課人事管理監 県立学校教育課人事班主査 義務教育課人事管理監</p>
<p>4 傍聴した者</p> <p style="margin-left: 40px;">記者 2 人</p>		

平成 21 年第 11 回県教育委員会会議(定例会)

開会 (15:00)

委員長	<p>それでは、ただ今から平成21年第11回県教育委員会会議定例会を開催します。</p> <p>はじめに会期の決定を行います。本日1日を予定しておりますが、よいでしょうか。</p>
各委員	異議なし。
委員長	<p>このとおり決定します。</p> <p>次に前回会議録の承認を行います。東委員お願いします。</p>
東委員	正確に記載されております。
委員長	正確に記載されているということですが、承認してよいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	<p>承認します。</p> <p>今回、会議録署名人は、安次嶺委員にお願いします。</p>
安次嶺委員	はい。
委員長	次に教育長報告をお願いします。
教育長	(教育長報告を行う)
委員長	では、ご質疑ございますか。
鎌田委員	30人学級の陳情が採択されている。県民の関心が高いということがわかる。小学校低学年の30人学級がスタートしているが、その効果の検証はどうなっているか。
義務課長	この件につきましては、年度末に少人数学級を実施している学校にアンケートを実施し、集約していきたいと考えております。
委員長	今年度末ということか。
義務課長	はい。
鎌田委員	前年度の状況がまとめられたものもあるか。
義務課長	はい。
鎌田委員	それを踏まえて今年度取り組んでいるのか。
義務課長	はい。
委員長	<p>それについて勉強会で昨年1年間実施した成果の説明をしてほしい。</p> <p>ほかにご質疑はございませんか。</p>
安次嶺委員	「国費海外派遣事業」廃止について。これは沖縄県だけに対して国が行っている事業なのか。
教育長	はい。

安次嶺委員	それはどういう経緯か。
県立課長	太田県政の頃から実施している国費の海外派遣事業が3件あります。
安次嶺委員	太田知事が、特に沖縄県はこれが必要だと国に訴えて始まったのか。
県立課長	はい。
安次嶺委員	<p>これは結構なことだと思う。この事業がどれだけ沖縄県に役立ったかということの評価をすべきだ。国がやめたからやめましょうということではなく、今後も継続する意味があるのかどうかということを考えてほしいと思う。私の考えとしては、とても良いことなので、沖縄県の社会状況、大学院大学ができることや、日本の南に向けた玄関口という位置付けから言っても、沖縄県がこのような人材を育てるということはとても大事なことだと思う。沖縄県独自でも今後この事業を継続していくという方向性があるのかどうか。</p> <p>どれだけこの制度が役に立ち、今後も役立つであろうか、というようなものがないと決められない。ただ国からお金をもらったから、太田知事がたまたま持ってきたからということではなく、せっかくできたものをこれでなくすのか、そのあたりの評価や将来的なことを聞きたい。</p>
教育長	<p>本事業では、沖縄県の高校生を1～2年間本格的に海外に送ってきておりますが、戻ってきた子どもたちは色々な面で活躍しております。たとえばディベートコンテスト等、いろいろなコンテストで上位を占め、九州大会で優勝する等の活躍があります。また、通訳に関してもエキスパートを育てており、本事業については高く評価しております。</p> <p>国際交流・人材育成財団においても、3月に急に打ち切りと伝えられたこともあり、要請をしているところであります。また、県としても、県単独の事業もありますので、それとあわせて今後どのような形で取り組んでいくかということを検討しております。これまで果たしてきた役割をしっかりと踏まえて、財団として検討しているところであります。</p>
安次嶺委員	今は厳しい情勢なので、どこもいろいろとカットしていると思うが、お金がかかっても残す価値のあるものはしっかりやらなければいけないと思う。ぜひ、前向きに検討してほしい。
委員長	国が全国的に行っている事業、国が特に沖縄県に配慮して行っている事業、そして県単独で行なっている海外派遣制度や事業について、いつまでの事業なのか、どういう支援内容なのか、関わった子どもたちがその後どのように活動しているのか、情報を提供してほしい。
教育長	戻ってきた生徒がその後どのような職業に就いたかなどの情報がある

	<p>ので、後ほど提供したい。</p>
委員長	<p>勉強会の時でかまわない。そうした情報をもらった上で、安次嶺委員が言うように海外派遣事業は大事なことなので、今後のよい方法を検討させてほしい。</p> <p>ほかにご質疑はございませんか。</p>
東委員	<p>「秋田県の学力向上や教職員多忙化解消への取組から学ぶ点について」という質問に対する答弁はどのようなものだったのか。</p> <p>先日、我々教育委員も秋田県から交換で来ている先生方を講師に招いた勉強会に参加した。数え切れないくらい示唆に富むものだった。</p> <p>沖縄の教員全般について、授業の準備や方法に改善が必要ではないかという指摘があったが、個々の努力が必要であるということと同時に、秋田県では多忙化防止プロジェクトというようなものがあるという話だった。なにかひとつ新しいことを始めるときは、なにかひとつ、今まで慣例だけでやってきたことをなくしていくという具体的なプロジェクトで、非常によいことだと勉強になった。</p>
教育長	<p>教職員の多忙化解消への取組がなにかあるかというご質問でした。学力向上についての取組等についてはいろいろと学んでいるところでありますが、多忙化解消についてはまだ調査していないというように回答しております。</p> <p>また、文教厚生委員会においても、同様に「秋田県は教職員の多忙化解消の取組をしていることを知っているか。」という趣旨のご質問があり、これについてはまだ把握していない旨回答をいたしました。共産党の西銘議員からも、多忙化解消の取組があるので、学んでほしいとのご意見がありました。</p>
委員長	<p>先日行われた市町村教育委員会の研修会で、秋田県からいらした小学校、中学校の先生方の講演会があった。3ヶ月たってどうであったかということについて、秋田県と沖縄県の比較をしながら発表してくださったが、東委員がおっしゃるように学ぶことが多く、我々教育委員も大変勉強させてもらった。また、一昨日開催された全国教育委員研修会の意見交換でも、多忙化解消への取り組みは話題になっていた。県外の事例も参考にして、ぜひ検討してほしい。</p> <p>ほかにご質疑はございませんか。</p> <p>(しばし間があり)</p>

	<p>県議会ではいろいろと質問が出たが、私は嘉手納基地の周辺の学校の騒音問題や辺土名高等学校の定員割れの意見が気になる。できれば教育委員で視察に回って実態を見たいと思う。その他諸問題の解決については、教育庁で既に取り組んでいると思うので、よろしくお願ひしたい。</p> <p>それでは議事に入ります。</p> <p>本日の議題は、議案が2件となっております。なお、議案第1号及び第2号は人事案件となっておりますので、非公開としたいと思ひますがよろしいでしょうか。</p>
各委員	はい。
委員長	<p>それでは、このとおり決定します。</p> <p>休憩します。</p> <p>(以下は非公開部分のため、省略します)</p>